



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

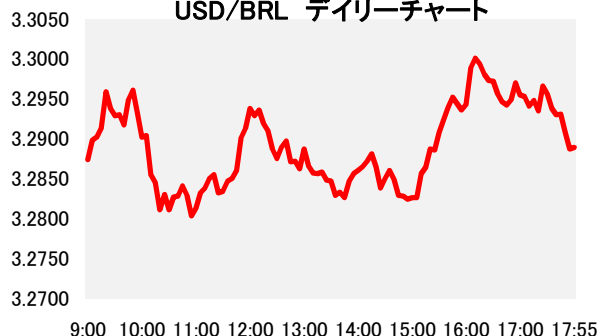
			12月12日	12月13日	12月14日	12月15日	12月18日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.3190	3.3170	3.3350	3.3020	3.2890	-0.0130
	BRL/JPY	Spot	34.25	34.00	33.63	34.11	34.23	+0.12
	EUR/USD	Spot	1.1739	1.1814	1.1794	1.1756	1.1784	+0.0028
	USD/JPY	Spot	113.55	112.61	112.16	112.59	112.56	-0.03
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.746	6.732	6.728	6.717	6.711	-0.006
	Future	1Year(p.a.)	6.934	6.914	6.916	6.915	6.898	-0.017
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.504	2.543	2.578	2.600	2.578	-0.022
	USD	1Year(p.a.)	2.675	2.735	2.799	2.814	2.781	-0.033
株式	Bovespa指数	73,813.56	72,914.31	72,428.94	72,607.69	73,116.50	508.81	
CDS	CDS Brazil 5y	164.92	164.89	167.37	166.44	164.14	-2.30	
商品	CRB指数	183.414	183.365	184.218	184.524	185.418	+0.89	

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
IGP-M Inflation 2nd Preview	0.81%	0.88%	0.37%
FGV CPI IPC-S	0.36%	0.34%	0.39%
経済活動(前月比)	0.0%	0.3%	0.3%
経済活動(前年比)	2.8%	2.9%	0.7%
貿易収支(週次)	--	\$1268m	\$938m
CNI産業信頼感	--	58.30	56.50

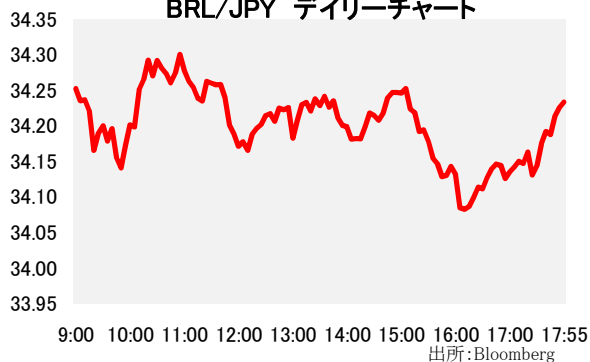
USD/BRL デイリーチャート



3. 要人コメント

カシュカリ ミネアポリス連銀総裁	インフレ上昇が見れない中で利上げを続けられ、賃金の伸びを不必要に押し上げる可能性があるほか、リセッションの確率を高めかねない。
---------------------	---

BRL/JPY デイリーチャート



4. トピックス

- 本日のレアルは3.2960で寄り付いた。大口の資金流入の噂が聞かれたほか、ドルが対主要通貨で売られるとレアルは本日の高値となる3.2800まで買われた。正午を挟んで3.28台から3.29台での揉み合いが継続。引けにかけてレアルは再び緩み、本日の安値となる3.3000を付け、結局3.2890でクローズした。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.91%から0.96%に、2018年は2.62%から2.64%にそれぞれ上方修正された。インフレ率予想は2017年が2.88%から2.83%に、2018年は4.02%から4.00%にそれぞれ下方修正された。為替レートは2017年末が3.25から3.29へレアル安方向に修正され、2018年末は3.30に据え置かれた。
- 12月の米住宅建設業者の景況感を示す指数は前月から上昇、1999年7月以来の高水準となった。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。